Creative Enzymes®

ネイティブキュウリ科植物 L-アスコルビン酸オキシダーゼ

Cat. No. DIA-124

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、L-アスコルビン酸オキシダーゼ（EC 1.10.3.3）は、化学反□2 L-アスコルビン酸 + O2 ↔ 2 デヒドロアスコルビン酸 + 2 H2Oを触媒する酵素です。したがって、この酵素の二つの基質はL-アスコルビン酸とO2であり、その二つの生成物はデヒドロアスコルビン酸とH2Oです。
用途	この酵素は、アスコルビン酸の酵素的測定に役立ち、臨床分析におけるアスコルビン酸の干渉を排除するために有用です。
別名	アスコルベース; アスコルビン酸オキシダーゼ; アスコルベートオキシダーゼ; アスコルビンオキシダーゼ; アスコルベート脱水素酵素; L-アスコルビン酸オキシダーゼ; AAO; L-アスコルベート: O2 オキシリダクターゼ; AAオキシダーゼ; EC 1.10.3.3; 9029-44-1; L-アスコルベートオキシダーゼ

製品情報

由来	ウリ科の植物 (Cucurbita sp.)
外□	淡い青色の非晶質粉末、凍結乾燥された
形態	淡い青色の凍結乾燥粉末。
***EC*番号**	EC 1.10.3.3
***CAS*登□番号**	9029-44-1
活性	40U/mg
混入物	カタラーゼ < 1.0×10^{-1} % ホスファターゼ < 2.0×10^{-2} %
***pH*安定性**	pH 6.0-10.0 (25°C, 20時間)
最適pH	6
熱安定性	45°C未□（pH 7.0、30分）
ミカエリス定数	3.0×10-4M（アスコルビン酸塩）
特異性	酵素はアスコルビン酸およびいくつかのアスコルビン酸誘導体を酸化します。
阻害剤	シアン化物、Na_2S、ジエチルジチオカルバメート (Na)
単位定義	1ユニットは、以下に記載された条件下で、1分あたり1マイクロモルのアスコルビン酸の減少を引き起こします。

保管・発送情報

保存方法	密閉容器に入れ、乾燥させ、光から保護し、-20°Cで保存してください。
安定性	-20°Cで少なくとも1年間安定しています